

【新制度】

研修チェックシート(Ⅰ.総論)

研修開始日	年	月	日から
専攻医名			

●受験申請時に提出する必要がありますので、各自で保管してください
 ●記入方法はチェックシートの一番下を参照してください

大項目	中項目	小項目	到達目標レベル A-B/a-c	1年目		2年目		研修修了時 (3年目あるいはそれ以降)	
				年 月 日から 年 月 日まで		年 月 日から 年 月 日まで		年 月 日から 年 月 日まで	
				専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック
I 総論									
1. 神経発達									
	脳の発生と分化	正常発生、髄鞘化	A						
	運動発達		A						
	社会性の発達		A						
	言語発達		A						
	視覚の発達		A						
	聴覚の発達		A						
	睡眠の発達		A						
	情動の発達		A						
2. 神経解剖・組織・機能									
	大脳		A						
	小脳		A						
	脳幹		A						
	脊髄		A						
	末梢神経		A						
	骨格筋		A						
	眼球		A						
	聴覚器		A						
3. 小児神経医療倫理									
	医療倫理の基本の理解		A						
	患者中心の医療の実践		A						
	守秘義務の理解、実施		A						
	個人情報の保護の理解と実施		A						
	インフォームド・コンセント(IC)の実施	通常の診療のICの実施	A						
		遺伝学的検査のICの実施	A						
	子どもの権利の理解と実践		A						
	知る権利、知らない権利の理解と実践		A						
	臨床研究の倫理規定の理解と遵守	ヒト生体試料、疫学、遺伝子	A						
	発達予後不良疾患の医療倫理		A						
	進行性神経疾患の医療倫理		A						
4. 小児神経遺伝学									
	遺伝医学の根本原理		A/a						

大項目	中項目	小項目	到達目標レベル	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック
			A-B/a-c						
	遺伝医学総論	検索方法、発症要因、用語の理解、 検査方法、機能、構造、発現	A/a						
	染色体異常症	染色体検査、染色体の構造	A/a						
	単一遺伝子疾患、多因子疾患、ミトコンドリア遺伝学		A/a						
	遺伝性疾患の起こる機序、遺伝学的検査		A/a						
	先天異常		A/a						
	遺伝カウンセリング		A/a						
5. 小児神経医療経済									
	主たる小児神経疾患の保険診療報酬点数を知っている		A						
	保険診療の理解と実施		A						
5-1. 医療費補助制度									
	未熟児養育医療		A						
	育成医療		A						
	小児慢性特定疾患治療研究事業		A						
	難病医療費助成制度		A						
	自立支援医療		A						
	重症心身障害者医療費給付		A						
5-2. 障害児（者）医療									
	身体障害者福祉法	等級、福祉措置	A						
		身体障害者手帳の診断書作成	A/a						
		15条の医師指定の理解	A						
		19条の医師指定の理解	A						
		身体障害者診断書・意見書（肢体不自由用）の作成	A/a						
		身体障害者診断書・意見書（脳原性障害用）の作成	A/a						
	知的障害者福祉法	療育手帳発行に必要な診断書作成	A/a						
	障害年金	肢体の障害、精神の障害の診断書作成	A/a						
	特別児童扶養手当	診断書作成	A/a						
	障害児福祉手当	診断書作成	A/a						
	補装具支給	診断書作成	A/a						
6. 診療									
6-1. 診療の基本									
	適切な清潔感ある外見		A						
	適切な言葉使い		A						
	真摯で共感を示す診療姿勢		A						
	患者、家族の話を聴き理解する		A						
6-2. 病歴聴取									
	子どもから病歴を聴取できる		A/a						
	保護者から病歴を聴取できる		A/a						
	主訴にあった病歴を聴ける		A/a						
	主訴にあった家族歴を聴ける		A/a						
	主訴にあった既往歴を聴ける		A/a						
6-3. 診察									
6-3-1. 一般身体診察									
	小児科専門医レベルの診察ができる		A/a						
6-3-2. 発達評価									
	運動発達の評価	粗大運動、微細運動、麻痺、筋トーンス、shuffling baby	A/a						

大項目	中項目	小項目	到達目標レベル	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック
			A-B/a-c						
	精神発達の評価	発達年齢の評価	A/a						
		知的発達、言語発達、情緒、社会性、行動の発達	A/a						
	発達障害の評価	注意欠如・多動症、自閉スペクトラム症	A/a						
		主要な精神症状の評価	内的症状（抑うつ、不安強迫、幻覚）	A/a					
	精神・心理検査が選択できる（対応年齢、評価特性が分かり選択できる）	遠城寺式乳幼児分析的発達検査 乳幼児精神発達質問紙（津守式） 日本版デンバー式発達スクリーニング検査 新版K式発達検査 田中・ビネー知能検査 WPPSI知能検査 ウェクスラー式知能検査 ITPA言語学習能力診断検査 K-ABC心理・教育アセスメントバッテリー	遠城寺式乳幼児分析的発達検査	A/a					
			乳幼児精神発達質問紙（津守式）	A/a					
			日本版デンバー式発達スクリーニング検査	A/b					
			新版K式発達検査	A/b					
			田中・ビネー知能検査	A/b					
			WPPSI知能検査	A/b					
			ウェクスラー式知能検査	A/a					
			ITPA言語学習能力診断検査	B/b					
			K-ABC心理・教育アセスメントバッテリー	B/b					
	適切なフォロー計画を立て、次回診察までの目標、療育計画が立てられる		A/a						
	6-3-3. 神経学的診察（年齢に応じた診察ができる）								
6-3-3-① 意識									
	意識障害の重症度評価	乳児、幼児以降	A/a						
		無言性無動症	A/c						
		失外套症候群	A/c						
		持続性植物状態	A/b						
		閉じ込め症候群	A/c						
		随伴症候：眼球運動	共同偏視、斜偏視	A/a					
			ocular bobbing、彷徨性眼球運動	A/c					
		人形の目現象	A/a						
6-3-3-② 反射									
	原始反射：脊髄反射	自動歩行	A/a						
		陽性支持反射	A/a						
		把握反射（手、足）	A/a						
		引っ込め反射	A/a						
		交差伸展反射	A/a						
		原始反射：脊髄・橋レベルの反射	Moro反射	A/a					
非対称性緊張性頸反射	A/a								
対称性緊張性頸反射	A/a								
緊張性迷路反射	A/a								
姿勢反射：中脳・視床レベル	頸性立ち直り反射	A/a							
	視覚性立ち直り反射	A/a							
	パラシュート反射	A/a							
	Landau反射	A/a							
摂食反射	探索反射 rooting reflex	A/a							
	吸啜反射 sucking reflex	A/a							
	嚥下反射	A/a							
深部腱反射	上腕三頭筋反射	A/a							
	上腕二頭筋反射	A/a							
	回内筋反射	A/a							

大項目	中項目	小項目	到達目標レベル	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック
			A-B/a-c						
		膝蓋腱反射	A/a						
		アキレス腱反射	A/a						
	表在反射	角膜反射	A/a						
		咽頭反射	A/a						
		腹壁反射	A/a						
		拳拳筋反射	A/a						
		肛門反射	A/a						
	病的反射	Babinski反射	A/a						
		Hoffmann反射	A/a						
		Trömner反射	A/a						
		足間代	A/a						
6-3-3-③ 感覚系									
生理	表在感覚路の理解		A/a						
	深部感覚路の理解		A/a						
診察	痛覚の診察		A/a						
	触覚の診察		A/a						
	温度覚の診察		A/a						
	振動覚の診察		A/a						
	位置覚の診察		A/a						
検査	検査	末梢神経伝導検査	A/a						
		体性知覚誘発電位	A/a						
病態	末梢神経性感覚障害		A/b						
	脊髄性感覚障害		A/b						
	脳幹・視床・大脳性感覚障害		A/c						
	心因性感覚障害		A/c						
6-3-3-④ 脳神経系									
	脳神経Ⅰ（嗅神経）	嗅覚障害	A/a						
	脳神経Ⅱ（視神経）	視力、視野、眼底	A/a						
	脳神経Ⅲ、Ⅳ、Ⅵ（動眼神経、滑車神経、外転神経）	外眼筋麻痺、眼瞼下垂	A/a						
	脳神経Ⅴ（三叉神経）	咬筋、顔面頭部前部の感覚	A/a						
		瞳孔反射	A/a						
	脳神経Ⅶ（顔面神経）	味覚、涙腺、唾液腺	A/a						
		顔面筋	A/a						
		中枢性麻痺、末梢性麻痺	A/a						
	脳神経Ⅷ（聴神経）	聴覚、平衡覚	A/a						
	脳神経Ⅸ（舌咽神経）	咽頭反射	A/a						
	脳神経Ⅹ（迷走神経）	咽頭、喉頭、口蓋、嚥下	A/a						
	脳神経Ⅺ（副神経）	僧帽筋、胸鎖乳突筋	A/a						
	脳神経Ⅻ（舌下神経）	舌、線維束性収縮、萎縮	A/a						
6-3-3-⑤ 小脳症候と診察									
	協働収縮異常 dyssynergia	指鼻試験	A/a						
	測定異常 dysmetria	指鼻試験	A/a						
		踵膝試験	A/a						
		リバウンド・テスト	A/a						
	dysdiadochokinesia	回内回外試験	A/a						
	小脳性失調	失調性歩行	A/a						
	眼振		A/a						
	振戦	静止時振戦、動作時振戦	A/a						
		姿勢振戦、企図振戦	A/a						
	構音障害		A/a						
6-3-3-⑥ 脊髄症候と診察									
	運動麻痺	痙性麻痺と弛緩性麻痺	A/a						

大項目	中項目	小項目	到達目標レベル	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック
			A-B/a-c						
		線維索性収縮	A/a						
		解離性感覚障害	A/a						
		手の症候	A/b						
		Aran-Duchenneの手	A/b						
		脊髄手	A/b						
		切断症候	A/b						
		Brown-Séquard症候群	A/b						
		高位診断	A/a						
6-3-3	⑦	末梢神経症候と診察							
		麻痺	A/a						
		感覚障害	A/a						
		感覚鈍麻、異常感覚	A/a						
		自律神経障害	A/a						
		検査	A/a						
		末梢神経伝導検査、髄液	A/a						
		筋電図（判読できる）	A/a						
6-3-3	⑧	自律神経症候と診察							
		瞳孔症候	A/a						
		発汗の異常	A/a						
		膀胱直腸障害	A/a						
		血管運動障害	A/a						
		起立性調節障害	A/a						
6-3-3	⑨	筋症候と診察							
		筋の神経支配	A/a						
		筋肥大の評価	A/a						
		片側肥大、仮性肥大	A/a						
		筋萎縮の評価	A/a						
		筋緊張亢進の評価	A/a						
		筋緊張低下の評価	A/a						
		姿勢	A/a						
		引き起こし反応	A/a						
		loose shoulder	A/a						
		scarf徴候	A/a						
		double folding	A/a						
		heel-to-ear徴候	A/a						
		筋力の評価	A/a						
		徒手筋力テスト、握力測定	A/a						
		問診、観察による評価	A/a						
		動揺性歩行	A/a						
		登攀性起立・Gowers徴候	A/a						
		易疲労性の評価	A/a						
7.	小児神経症候学								
7-1.	脳神経領域								
		嗅覚	B/b						
		嗅覚脱失	B/b						
		視力障害	A/a						
		皮質盲、心因性、脱髄、炎症	A/a						
		網膜色素変性、先天性盲	A/a						
		眼底	A/a						
		うっ血乳頭	A/a						
		乳頭浮腫	B/b						
		視神経萎縮	B/b						
		視野障害	A/b						
		中心暗点、Mariotteの盲点	A/b						
		閃輝暗点、半盲、視野狭窄	A/b						
		眼球、眼瞼の異常	A/a						
		眼瞼下垂	A/a						
		眼球陥凹、眼球突出	A/b						
		複視	A/b						
		病巣診断、病因診断	A/b						
		眼球共同運動障害	B/b						
		(注視麻痺)	B/b						
		Foville症候群	B/b						
		Parinaud症候群	B/b						
		随意性注視麻痺	A/b						
		反射性注視麻痺	A/b						
		眼振	A/a						
		種類、病巣	A/a						
		異常眼球運動	A/a						
		瞳孔	A/a						
		散瞳	A/a						

大項目	中項目	小項目	到達目標レベル	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック
			A-B/a-c						
		縮瞳	A/a						
		左右不同	A/a						
		Horner徴候	B/b						
		Argyll-Robertson瞳孔	B/b						
		Marcus-Gunn現象	B/b						
	角膜	Kayser-Fleischer輪	B/b						
	顔面麻痺	片麻痺、両麻痺、ミオパチー顔貌	A/a						
		中枢性、末梢性	A/a						
	聴力の異常	難聴	A/a						
		耳鳴り	B/b						
		聴覚過敏	B/b						
	前庭症候	Romberg徴候	A/a						
		caloric test	A/a						
		めまいの鑑別診断	A/a						
	構音障害		A/a						
	球麻痺	症候、診断、鑑別診断	A/a						
	仮性球麻痺	症候、診断、鑑別診断	A/a						
	髄膜刺激症候	項部硬直	A/a						
		Kernig徴候	A/a						
		Brudzinski徴候	A/a						
7-2.	運動の異常								
	頭蓋内圧亢進	神経徴候、症状	A/a						
	麻痺	片麻痺	A/a						
		対麻痺	A/a						
		両麻痺	A/a						
		四肢麻痺	A/a						
		単麻痺	A/a						
	錐体路障害	症候、徴候	A/a						
		Wernicke-Mann肢位	A/a						
	異常運動	振戦	A/a						
		ヒョレア	A/a						
		バリズム	A/a						
		ジストニア	A/a						
		痙性斜頸	A/a						
		アテトーゼ	A/b						
		ミオクローヌス	A/a						
		チック	A/a						
		線維性収縮	A/a						
		線維束性収縮	A/a						
	失調	脊髄後索性	A/c						
		小脳性	A/a						
		前庭性	A/b						
7-3.	感覚の異常								
	異常感覚		A/a						
	疼痛		A/a						
	感覚障害		A/a						
7-4.	膀胱直腸障害								
	排尿の異常	排尿困難	A/a						
		頻尿	A/a						
		緊張性膀胱	A/a						
		弛緩性膀胱	A/a						
		尿閉、失禁	A/a						
	排便の異常	便秘、便失禁	A/a						

大項目	中項目	小項目	到達目標レベル	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	
			A-B/a-c							
8. 鑑別診断										
	意識障害	外因性、内因性	A/a							
		非けいれん性てんかん重積	A/a							
	けいれん／けいれん重積	年齢別疾患	A/a							
	てんかん発作の分類	焦点意識保持発作	A/a							
		焦点意識減損発作	A/a							
		欠神発作	A/a							
		非定型欠神発作	A/a							
		ミオクロニー発作	A/a							
		間代発作	A/a							
		強直発作	A/a							
		強直間代発作	A/a							
		脱力発作	A/a							
		分類不能発作	A/a							
		てんかん性スパズム	A/a							
		てんかん類似疾患	Sandifer症候群、情動脱力発作、心因性非てんかん発作	A/a						
		髄膜刺激症状	髄膜炎、くも膜下出血	A/a						
	頭囲の異常、頭部変形	小頭症、大頭症、縫合早期癒合	A/a							
	知的発達症／知的能力障害	最重度、重度、中等度、軽度	A/a							
	身体的特徴を伴う知的発達症	小奇形、特有の顔貌、低身長	A/a							
	知的退行	神経変性疾患、発達性てんかん性脳症	A/a							
	言語発達遅滞	難聴、自閉スペクトラム症	A/a							
	フロッピーインファント	Prader-Willi症候群、脊髄性筋萎縮症I型	A/a							
	運動発達遅滞	shuffling baby、運動失調	A/a							
	歩行障害・歩容の異常	痙性、失調性、動揺性、鶏歩、跛行、突進歩行	A/a							
	不随意運動	振戦、ヒョレア、パリスム、アテトーゼ、ジストニア、ジスキネジア、ミオクロームス、ミオキミア	A/a							
	筋力低下	近位筋優位、遠位筋優位	A/a							
	運動失調	小脳性、前庭性、脊髄性、大脳性	A/a							
	嚥下障害	球麻痺、仮性球麻痺	A/a							
	易疲労性	甲状腺機能低下症、重症筋無力症	A/a							
	眼球運動異常、眼瞼下垂	斜視、眼球運動神経麻痺、眼振、眼球運動失行	A/a							
	頭痛	一次性、二次性	A/a							
	問題行動・適応障害	知的発達症／知的能力障害、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症、反応性愛着障害、転換性障害、不安障害	A/a							
9. 脳死										
	判定倫理		A							
	法的脳死判定		A							
	虐待の鑑別の重要性		A							
	小児の脳死に関する問題の理解		A							
	小児の法的脳死判定	平坦脳波	A/b							
10. 神経学的検査										
10-1. 脳脊髄液検査										
	腰椎穿刺	適応と禁忌、手技	A/a							

大項目	中項目	小項目	到達目標レベル	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック
			A-B/a-c						
	頭蓋内圧亢進症状と脳ヘルニア	症状	A/a						
	脳脊髄液細胞	年齢に応じた基準値	A/a						
	脳脊髄液生化学	年齢に応じた基準値	A/a						
	病原菌の検出・同定	染色、ウイルス抗体、PCR	A/a						
	神経疾患における髄液の特徴	髄膜炎、脳炎、免疫性疾患、腫瘍	A/a						
10-2.	神経放射線学的検査								
	頭部単純X線	頭蓋の正常X線解剖	A/a						
		形態の異常、縫合異常	A/a						
		骨折、骨破壊、骨過形成	A/a						
		トルコ鞍の拡大、破壊	A/a						
		副鼻腔	A/a						
	脊椎単純X線	正常X線解剖	A/a						
		頭蓋底陥入症、環軸椎脱臼	A/a						
		脊椎骨奇形、変形	A/a						
	頭部単純CT	脳解剖と各部位の同定	A/a						
		年齢に応じた白質の評価	A/a						
		形態異常の評価	A/a						
		石灰化、出血、浮腫、梗塞	A/a						
		占拠性病変	A/a						
	造影頭部CT	増強効果	A/a						
		頭部3次元造影CTによる脳血管病変の検索	A/b						
	骨格筋CT	骨格筋の同定	A/a						
		筋線維変性病変	A/b						
	頭部MRI	T1強調像：特徴、評価	A/a						
		T2強調像：特徴、評価	A/a						
		FLAIR像	A/a						
		拡散強調画像（DWI）	A/a						
		Gd-DTPA造影検査	A/a						
		3D-MRI	A/a						
		MRA	A/a						
		MRS	B/b						
	脊髄MRI	アーチファクト	A/a						
		T1強調像：特徴、評価	A/a						
		T2強調像：特徴、評価	A/a						
		MR myelography	B/b						
	脳血管の評価	DSA、MRA、CTA	A/b						
	脳血流・脳代謝の評価	SPECT、ポジトロンエミッションCT (PET)	B/b						
10-3.	生理学的検査								
10-3-1	脳波								
	脳波計を操作して記録ができる	電極、導出法、記録法	A/a						
	正常の脳波の評価と報告書作成	アーチファクト、time constant	A/a						
		新生児の脳波	A/a						
		小児の脳波	A/a						
		成人の脳波	A/a						
		睡眠脳波	A/a						
		脳波の発達	A/a						
	異常波形の評価と報告書作成	鋭波、棘波、棘徐波	A/a						
		意識障害、suppression-burst、PSD、三相波など	A/a						
10-3-2	誘発電位								
	適応、記録法（自分でできる）		A/a						

大項目	中項目	小項目	到達目標レベル	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック
			A-B/a-c						
	ABR		A/a						
	SSEP		A/a						
	VEP		A/b						
	事象関連電位 (P300など)		B/c						
10-3-3	末梢神経伝導検査								
	適応、記録法 (自分でできる)		A/a						
	運動神経伝導検査		A/a						
	感覚神経伝導検査		A/b						
	M波、H波、F波の記録		A/b						
	神経反復刺激 (waning、waxing)		A/b						
10-3-4	磁気刺激による神経生理検査								
		皮質脊髄路	B/c						
10-3-5	針筋電図								
	適応		A/b						
	波形、線維性収縮電位		A/b						
	ミオトニア放電		A/b						
	筋原性所見		A/b						
	神経原性所見		A/b						
10-3-6	表面筋電図								
	記録、不随意運動の解析		A/a						
10-3-7	神経耳科的検査								
	オージオメトリーの適応と評価		B/c						
10-3-8	神経眼科的検査								
	視力検査：適応		A/a						
	視野検査：適応		A/a						
	網膜電図(ERG)：適応と検査		A/c						
	眼底検査：適応、評価		A/a						
10-3-9	自律神経機能検査								
	起立試験、Tilt試験、発汗試験		B/b						
	膀胱内圧測定		B/c						
10-3-	脳磁図								
	適応と評価		B/c						
10-4.	病理学的検査								
	筋生検	適応	A/a						
		染色法	A/b						
		筋線維タイプ	A/b						
		疾患特異的所見	A/b						
	皮膚生検	適応	A/b						
		疾患特異的封入体	A/b						
	神経病理	染色法	A/b						
		主要疾患特異的所見	A/b						
10-5.	遺伝子・染色体検査								
	染色体検査	適応、ICの取り方	A/a						
		検査法、選択、適応	A/a						
		結果の説明	A/a						
	染色体FISH法	適応、ICの取り方	A/a						
		結果の説明	A/a						
	マイクロアレイ染色体検査	適応、ICの取り方	B/b						
		結果の説明	B/b						
	遺伝子検査	方法、精度、特異度の理解	A/a						
		適応、ICの取り方	A/a						
		結果の理解、説明	A/a						
		倫理、カウンセリング	A/a						

大項目	中項目	小項目	到達目標レベル	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック
			A-B/a-c						
11. 小児神経疾患治療法・治療薬									
11-1. 基本的治療法									
	輸液療法	脱水、脳浮腫	A/a						
	呼吸管理	人工呼吸器管理	A/a						
	循環管理		A/a						
	経管栄養法		A/a						
	食事療法	必要カロリー、ケトン食	A/a						
	医学的リハビリテーション	PT、OT、ST、適切な処方	A/a						
	重症心身障害児（者）医学	胃食道逆流症（GERD）、呼吸、嚥下	A/a						
	在宅療養指導		A/a						
	インフォームド・コンセント	同意、プライバシーの保護	A/a						
11-2. 治療薬と治療法									
	頭蓋内圧降下薬	脳浮腫	A/a						
	線溶療法、抗血小板薬、抗凝固薬	DIC	A/a						
	抗けいれん薬・抗てんかん薬	初回量、維持量、中毒量	A/a						
		血中濃度、薬物動態	A/a						
		主たる副作用、禁忌	A/a						
		ACTH療法	A/a						
	抗菌薬、抗ウイルス薬		A/a						
	免疫療法	副腎皮質ステロイド	A/a						
		ステロイドパルス療法	A/a						
		免疫グロブリン大量静注療法	A/a						
		血漿交換療法／血漿吸着療法	B/c						
	酵素補充療法	Pompe病、Gaucher病、Fabry病、ムコ多糖症（Hunter病、Hurler病、Maroteaux-Lamy症候群）	A/b						
	神経筋接合部作用薬	クリーゼ	A/b						
	鎮痛薬	適応、禁忌	A/a						
	睡眠・鎮静薬	薬用量、副作用、適応、禁忌	A/a						
	抗不安薬	薬用量、副作用、適応、禁忌	A/a						
	抗精神病薬	薬用量、副作用、適応、禁忌	A/a						
	抗うつ薬	薬用量、副作用、適応、禁忌	A/a						
	精神刺激薬	薬用量、副作用、適応、禁忌	A/a						
	筋弛緩薬	薬用量、副作用、適応、禁忌	A/a						
	自律神経系作用薬	薬用量、副作用、適応、禁忌	A/a						
	アンチセンス核酸医薬品	脊髄性筋萎縮症、Duchenne型筋ジストロフィー	A/b						
	遺伝子治療	AADC欠損症	A/b						
12. 療育									
	運動障害に必要な療育	計画、評価	A/a						
	発達障害に必要な療育	計画、評価	A/a						
	他職種の業務の理解と連携	PT、OT、ST	A/a						
	重症心身障害児（者）の療育	経口摂取、呼吸、運動	A/a						
13. 移行期医療・Transition medicine									
	青年期、成人期の医療	医療、生活指導	A/a						
		妊娠・出産の管理の連携医療	A/a						
		成人専門医との連携	A/a						
14. Evidence based medicine (EBM)									
	EBM情報の求め方の実践		A/a						
	EBM情報の質の判断と利用の実践		A/a						
	エビデンスのない医療の実践の判断		A/a						
	エビデンスのない医療の説明と合意		A/a						
15. 医療安全									

大項目	中項目	小項目	到達目標レベル	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック	専攻医の 自己評価	専門研修 統括責任者 のチェック
			A-B/a-c						
	医療安全に関する体制の理解		A/a						
	事故防止のシステムの理解と実践		A/a						
	事故発生時の対応の理解と実践		A/a						
	院内感染対策の理解と実践		A/a						
	医療安全に関する講習の受講、または学習		A/a						
		研修施設名							
		専門研修統括責任者名 (自筆署名)							
		評価実施日	年 月 日			年 月 日		年 月 日	
		研修カリキュラムについての フィードバック (済んでいれば専攻医が✓記入)							
		360度評価 (済んでいれば専攻医が✓記入)							

到達目標と評価方法

1) 知識の到達目標

A: 内容を熟知している。

B: 内容の概略を知っている。

2) 技能・経験の到達目標

a: 主治医または担当医としての臨床経験を有し、独立して診療の判断ができる。

b: 主治医または担当医としての臨床経験はないが、見学などで見聞きしたことがあり、内容は概略を理解している。

c: 経験の必要はないが、内容の概略を理解している。

3) 専攻医による自己評価: 評価年度に研修した項目について、「到達目標レベル」に達していれば「自己評価」欄にチェック"✓"を記入する。

専門研修統括責任者による評価: 自己評価が行われた到達目標を確認して「専門研修統括責任者のチェック」欄にチェック"✓"を記入し、最下段の署名欄に自筆署名する。

●前年までに「専門研修統括責任者によるチェック」にチェック"✓"が入った項目は、翌年度以降は記入不要です。

●評価は毎年受けてください。